

様式第1号

令和4年9月29日

真庭市議会
議長 小田康文 様



真庭市議会議員 西田文子



調査研究、研修会、要請→陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究→ 研修会 要請→陳情活動

2 訪 問 先

長崎県長崎市尾上町4-1

出島メッセ長崎 , 長崎市役所

3 内 容

第84回全国都市問題会議

議題：個性を活かして「選ばれる」まちづくり

～何度も訪れたい場所になるために～

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

第84回全国都市問題会議（研修会）

参加者：西田文子・氏平篤正・森脇正和 以上3名

行程表

10月12日 出発

久世 自家用車 — 岡山駅 新幹線 — 新鳥栖 特急

7:00 8:54 さくら547号 11:21 リレーかもめ21号

— 武雄温泉 新幹線 — 長崎駅 — 長崎市役所・長崎市議会 — 宿
11:58 かもめ21号 12:29

タクシー

タクシー

10月13日

宿 — 第84回全国都市問題会議（出島メッセ長崎） — 宿

タクシー

タクシー

9:30 から 17:00

10月14日

宿 — 第84回全国都市問題会議（出島メッセ長崎） —

タクシー

タクシー

9:30 から 11:50

長崎駅 新幹線 — 武雄温泉 特急 — 博多 新幹線

17:42 かもめ48号 18:15 リレーかもめ48号 19:25 みずほ612号

— 岡山駅 — 自家用車 久世着

21:02

宿泊先

10月12日ー13日 2泊

西田文子

ホテルベルビュー長崎出島

〒850-0861

長崎県長崎市江戸町 1-20 TEL : 095-826-5030

氏平篤正 ・ 森脇正和 2名

ホテルフォルツァ長崎

〒850-0853

長崎県長崎市浜町 4-11 ハマクロス 411 4F TEL : 095-816-2111

日 程

第1日 10月13日(木)

9:30	開 会 式		
9:50	基 調 講 演	株式会社ジャパネットホールディングス 代表取締役社長兼CEO	高 田 旭 人 氏
11:00	主 報 告	長崎県長崎市長	田 上 富 久 氏
12:10	(昼 食)		
13:30	一 般 報 告	島根県立大学地域政策学部准教授	田 中 輝 美 氏
	(休 憩)		
14:50	一 般 報 告	山形県山形市長	佐 藤 孝 弘 氏
16:50	一 般 報 告	(一社)地域力創造デザインセンター代表理事	高 尾 忠 志 氏
17:00	(終 了)		

第2日 10月14日(金)

9:30	パネルディスカッション		
	[コーディネーター]		
		東京都立大学法学部教授	大 杉 覚 氏
	[パネリスト]		
		ゆとり研究所所長	野 口 智 子 氏
		山梨大学生命環境学部教授	田 中 敦 氏
		NPO法人長崎コンプラドール理事長	桐 野 耕 一 氏
		岐阜県飛騨市長	都 竹 淳 也 氏
		兵庫県伊丹市長	藤 原 保 幸 氏
11:50	閉 会 式		
閉会后	行 政 視 察	【希望者のみ(有料)】	

議長 副議長 局長 GL 係 回 覧



様式第2号

報 告 書



令和 4年 10月 25日

真庭市議会議長 小田康文 様

代表報告者 真庭市議会議員 氏名 西田文子



同行者 氏平篤正 森脇正和

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 令和4年10月13日(午前・午後) 9時30分 至 令和4年10月14日(午前・午後) 11時50分
2 場 所	長崎県長崎市尾上町4-1 出島メッセ長崎
3 用 件	第84回全国都市問題会議 議題：個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～
4 概 要	田上富久 長崎市長室での対談 須田英二秘書課長同席 私と田上富久市長は30年来の広報時代の友人である。全国都市大会のホスト会議が続く中、時間を作ってください話が聞けた。西田氏は市長歓迎あいさつで、金髪だった女子高生の話と龍踊りの話をなぜしたのか？森脇氏は前伊藤市長が銃撃され、弔い合戦の報道の中、職員だった田上さんが立候補を決意したのは？ 私は長崎に着いて出会った2人の女性との出来事で、それがその街の印

報告書（継紙）

象になると良い話を2つ伝え市民性なのかと問うた。3つとも素晴らしい内容の答えだった。その答えは3人の宝物にしたい。田上さんのうしろ横顔と女子高生が踊る龍踊りのスマホ写真を見せ、何らかの形で送るねと言うと、さすが広報マン、カメラアングルが違う。そのあと西田森脇両氏に行政の基本は広報だ、人の気持ちになって書く、人の気持ちになって話すだよ、議員も同じですよ、とあの穏やかな顔で優しく語った。2人はどう聞いたのだろうかと思った。自慢話ばかりする方もいる。4期目の田上市政ベスト10をもらうよう依頼した。

来年1月、260億円の新しい市役所が完成する。駅前の都市開発が完成する、スタジアムシティが完成する、すべて整うと長崎市は変わる。絶対に変わる。「田上さん頑張ってもう1期すべきです」と伝えた。あと2～3年で完成する施設のテープカットをさせてあげたいと思った。本当に忙しく時間に追われているのに、私たち3人が廊下を曲がるまで直立で見送ってくださった。流石、日本を代表するどこまでもかっこいい長崎市長でした。私の尊敬する田上さんでした。（氏平）

開会行事

ステージは相馬市長の全国市長会会長、後藤安記念東京都市研究所理事長、高松市長の日本都市センター理事長、開催市長崎市長、来賓の長崎県知事が登壇

立谷秀清会長の開会挨拶

270人の市長、1300人の議員など計2300人が参加して3年ぶりに都市問題会議が開催され嬉しい。ウクライナ、物価高、コロナ、自然災害等々の日が続く中、この大会で実りある情報交換をして、今後の都市の在り方を勉強し課題を地域に持ち帰ろう！ 医師でもある会長が第8波が来るぞとしめた。

田上富久長崎市長 開催市市長挨拶

ようこそ。3年ぶりの開催で前年度を参考にすることができなかった。本日を迎えられる事に関係各位に感謝する。これからの社会の在り方を長崎で一緒に考えよう！ 西九州新幹線で来られた人？…。今日の最後に女子高生たちが龍踊

りを披露する。長崎くんちを女性だけでするには先生も、生徒も多くの苦労があった。コロナ渦で発表できなかったが練習は毎日続けて来た。彼女たちに3年分の拍手を贈ってほしい。

基調講演 民間主導の地域創生の重要性

(株) ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼CEO 高田旭人氏

田上市長に「ちょっとしゃべってよ」と言われ役を受けたが、こんな立派な大会とは思わなく、ビックリした。衝動買いしても後悔させないジャパネットたかたの高田です。と冒頭から聴衆の心を掴んだ。直販だけのジャパネットたかたではなかった、すごかった。65歳で父の高田明氏が引退、あとはお前の好きなようにしろ！と言われ社長になったのが35歳の時。あれから7年間好きにやってきました。

三菱重工業長崎造船所工場跡地を見て、平地のない長崎でこの土地を逃したら一生スタジアムは出来ないと36歳の時思った。世界のスタジアム30箇所の勉強から始動した。そして「長崎から世界へ！」スタジアムシティ構想ができる。すごい、本当にすごい。プロサッカーチームを持つスタジアム、プロバスケットチームを持つアリーナ、滞在型のホテル、今ある店とダブらない商業施設、試合がない時のイベントプロデュース、西九州新幹線の駅と直結、スマホ決済の駐車場、どの発想も素晴らしい。すべての施設をつなぐ計画も話された。行政の公平性と民間の幸福感が連携すると立派なものになる。今の長崎市ではそれができる気がしている。クリエイティブプロデューサーの福山雅治さんの2分間映像が大画面に流れたが、泣きそうになった。すべてに夢がある。住み続けたい地方都市、地方が夢を歩く、世界を歩く、と唄っている気がした。

企業の働き方改革もすごかった。自分はいかに勉強する時間を短くするか考えていた。しかし父は夜も寝ずに働き続けていた、と。週3回ノー残業デー、午後8時20分に必ず退社、スーパーリフレッシュ休暇は16連休、できないは許さない、人事が抜き打ち検査をする、残り3日~4日になると仕事したくなる。休んでいる人の仕事をするので他人の仕事を理解するようになる。オフィス断捨離、机の上に何も置いて帰らない、パソコンもすべて置かない。1日3回のノー会議タイムの導入。卵子凍結に40万円まで補助。社員に15食をプレゼント、

上司がおごらなくてよくなる等々。「会社を好きになってもらう」が基本。常に離職率の事を考えている。

通販の話もされた。コロナ渦で高級食材が売れなくて困り捨てる→今15万人が登録している年間グルメ。儲けだけでなく、生産者から大変感謝されている。全国を盛り上げて地域創生を展開する考え。BS局も2022年3月開局した。飛行機を利用したスローフライヤー計画など。「まだまだやりますよ」と、まいった。地方にこんな素晴らしい人がいるんだ、田上市長とだからやれると思っただらうなと勝手に想像した。東京から長崎のためにと帰って来た若い人の話に、その壮大な話に引き込まれた1時間10分でした。どうもありがとう。

父親の世代の私としては「お金を残してくれた父に感謝している」の一言があれば120点だった。私は働き続けたが、息子にお金を残してやれなかった。父高田明氏は立派な方です。自分より息子の方が優秀だと思ったんでしょねきっと。
(氏平)

田上富久長崎市長 主報告 長崎市の魅力あるまちづくり

旭人さんの話の後に私の話はもの足りない… と始まった。ジャパネットたかたの社長を2300人の前であきとさんと話す田上市長の人柄、人間味を感じた。405 Km²、399,142人、港町で、家が建っている所はほとんど埋立地、450年前ザビエルが長崎にやって来た。〇年開港、〇年合併とちょっと、どこにでもいる市長の話になった感があり、メモを取るのをやめた。

ネットワーク型コンパクトシティ長崎の考え方を話す。価値を見つける、価値に気づく、価値を磨く、価値を生み出す、と田上さんが語る目からウロコの話あたりから俄然おもしろくなる。昭和49年閉山した軍艦島が世界遺産になるなんて、それは無理だろう！と皆思っていたが平成27年に登録され、今は多くの人に来る。長崎さるくとはぶらぶら歩くこと、コース作りをする事でおもしろくなり、しゃべりたくなりガイドもした。長崎を歩こう、きっと見つかる、あなたの長崎歩き。長崎STORY。 どの町だってある、必ずある、自分の町の内側を見よう。

街をデザインする、景観専門監の導入で街が変わって行く。小さな3000人の街モナコ、世界を代表するF1レースが街中を走るそのすごさの話。別府温泉の

裏と言われていた湯布院は中谷氏ら3人がドイツの温泉訪問からまちづくりが始まる。いいものを持っていたが気が付いていなかった。大きさではない、個性を大切に。それは緑だったり、静けさだったりといろいろ。長崎の価値を見つけること。弱みにせず強みにする。そう考える大切さ。「風の人、土の人」来る人と地元の人、その交流をするのは若い人かもしれない。だから若い人を応援する。

「天の時、地の利、人の和」被爆者はもうすぐ居なくなる。みんな亡くなる。だから語り継いでいかななくてはならない。平和でありたい。最後は人の和、行政だけではない、行政だけではできない。やはり田上さんの話は「平和」で終了した。5~6年前、長崎市長平和講演会で高校生の活動を紹介した事があり、私たちは微力だが無力ではないと言った高校生たちの言葉に感銘を受けた事がある。今回の長崎訪問で、その言葉が原爆資料館へ行く坂で碑になって存在していた。感動ものだった、田上市政は素晴らしいと感じ、見入った。あの碑が黒い石なのはなぜなんだろうとずっと気になっている。 (氏平)

長崎市議会 案内人 議会事務局総務係長 上野良介

秘書課係長 宇田川治 (今回の窓口)

定員40人 (自民9, 公明6, 共産3, 維新1) 総務、教育厚生、環境産業、建設水道の4常任委員会。馬蹄形造りで絨毯の品のある議場。2階の120人の傍聴席を大切に造りだ。CATVの中継所が議場内にあり、身近でちょっと良かった。事務局職員が22人。4人以上の会派に嘱託職員が1人つく、9人以上だと2人つく。今年からタブレットを導入した。早稲田大学のマニフェストの議会改革順位は気にしていない。議会報告会や市民と語る会なども開催していない。都市議会と言う感じ。来年1月庁舎新築と同時に議会も議場も新しくなる。楽しみにしている。

一般報告 島根県立大学地域政策学部准教授 田中輝美氏

島根県浜田市に生まれ、在住。何度も訪れたくなる場所（都市の新たな魅力と関係人口）という題名に変更。過疎が専門で、それが都市の問題にもなる。繋がりこそ価値、資源。都会ではいてもいなくても社会は回る。地域では一人一人の役割が大きい。自分も役割を発揮できる。観光以上、定住未満。お客様ではなく、一緒に作業して継続的に関わる関係人口。限られた担い手を共有（シェア）する。過剰に奪い合わない。ゼロから無理やり創出しなくていい。とりあえず関係人口！は避ける。市・県内関係人口に目を向ける。通う以外の関わり方も実験してみる。野球でいうと外国人の助っ人。地域と関わりたいという人を地域が生かすか生かさないかは地域次第。

一般報告 山形市長 佐藤孝弘氏

ビジョンを活かしたまちづくり～「選ばれる山形市」を目指して～

山形市では、「健康医療先進都市」「文化創造都市」を2大ビジョンとして行っている。市内に大病院が3院あり、最先端の医療を提供。医療と健康における強みを活かし、健康医療先進都市を長期ビジョンに掲げている。文化芸術活動が極めて盛んな街。東北芸術工科大学が立地。H29年ユネスコ創造都市ネットワークの加盟認定。健康医療先進都市が重視している健康寿命を延ばすため歩くことをベースにしたまちづくりをし、公共交通の充実による自家用車にたよらなくてもいい生活ができるまちづくりを進める。

一般報告 一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 高尾忠志

「交流の産業化」を支える景観まちづくり～長崎市景観専門監の取り組み～
公共事業のデザイン面と職員の育成を市長に託された。選ばれる地域になるために求められるインフラづくり。9年間で100以上の事業を監修。市長主催「まるかじり講座」で思いを繋ぐことの大切さ、生産者、消費者の思いを繋ぎたい。展望台を監修、みんなが一緒が本当のバリアフリー。観光客も市民もよりどころとなるもの。夜景、いい明りと悪い明り、夜景を磨くことで、宿泊すると、多くのお金を落としてくれる。象徴となる山を大切に。これから情報発信を一元化していく。丁寧に見直していく。

パネルディスカッション

東京都立大学法学部教授 大杉 寛氏

「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチ

ゆとり研究所所長 野口智子氏

人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ～「雲仙人プロジェクト」の試み～

山梨大学生命環境学部地域社会システム科学教授 田中 敦氏

ワーケーションの意味の拡張と変異

NPO法人長崎コンプラドール理事長 桐野耕一氏

人は人に会いに行く！～「まち歩き」で見つけた“まちのつくり方”～

岐阜県飛騨市長 都竹淳也氏

人口減少先進地の挑戦～ファンと共に取り組むまちづくり～

兵庫県伊丹市長 藤原保幸氏

清酒発祥の地・伊丹～酒と文化が薫まち～

街をデザインする職員を雇い、在るものを活かす。どうしてこの施設はこんな作りになっているのか、想いをとことん調べ、じっくり見て監修する。長崎市長は、すごいところに目を付けてその人を信じ切って任せている。任せられる人はもっと力を発揮するのだと思います。長崎市はますます魅力的になり、多くの人が訪れる市になると思いました。 (西田)

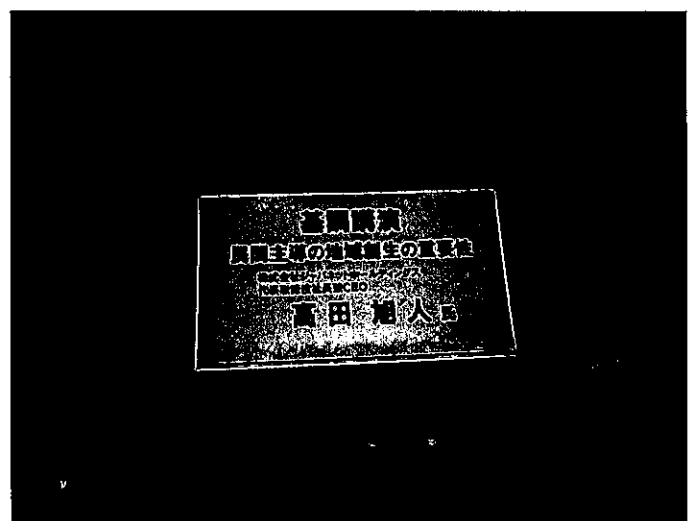
やはり、長崎市長田上氏の話は、とても印象に残った。日常目にしてきた端島(軍艦島)が観光資源になるとは思っていなかったが、外部の人に言われて気づきついには、世界遺産となった。真庭市内にも市民が日常目にしていて、外からみれば、観光資源になるものがないか、考えさせられた。忙しい時間を割いて我々の訪問を受け入れていただき質問にも真摯に答えていただき、市長室を後にしたときも、最後まで見送っていただいた市長の人間性にも感動しました。 (森脇)



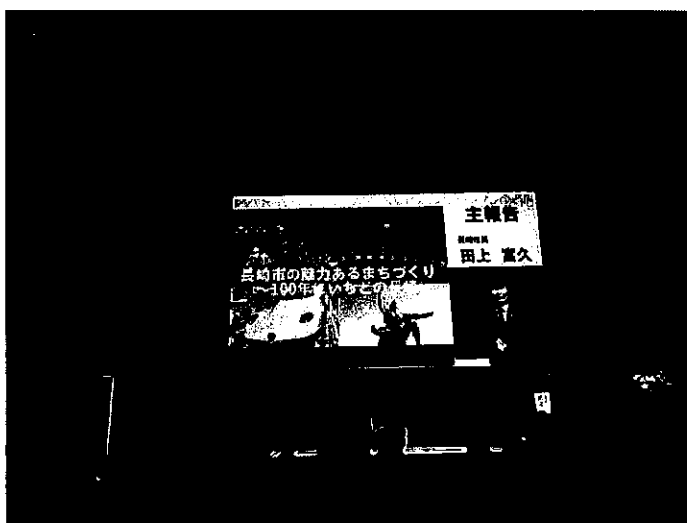
第84回全国都市問題会議
令和4年10月13日～14日
長崎県長崎市
会場：出島メッセ長崎



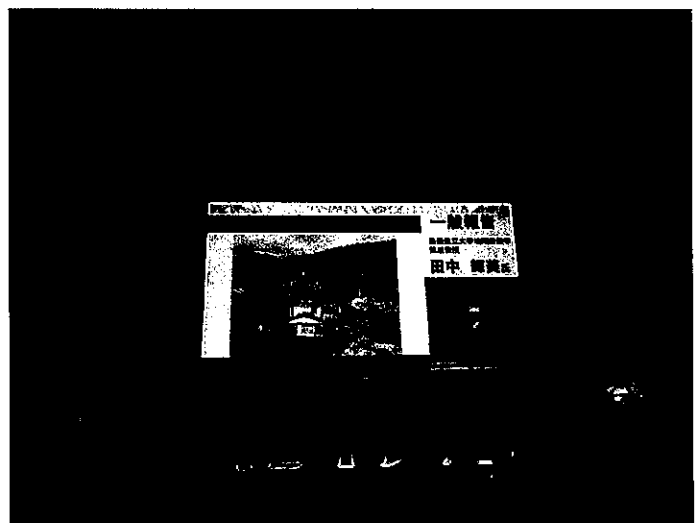
開会挨拶：全国市長会会長
相馬市長 立石秀清 氏



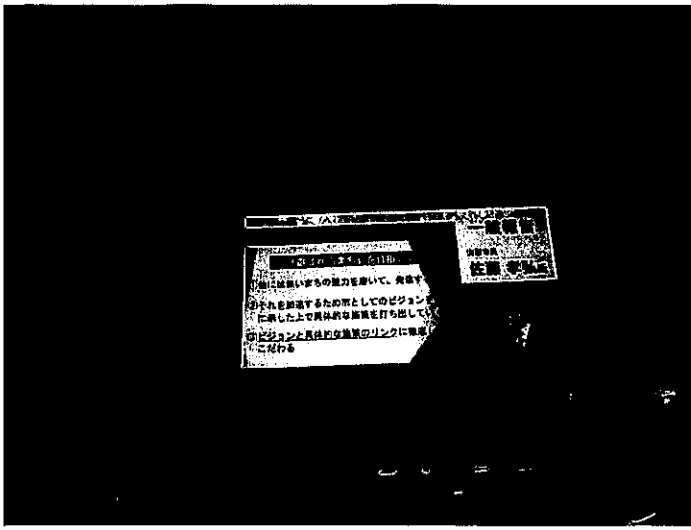
基調講演 (株) ジャパネットホールディングス
代表取締役社長兼CEO 高田旭人 氏



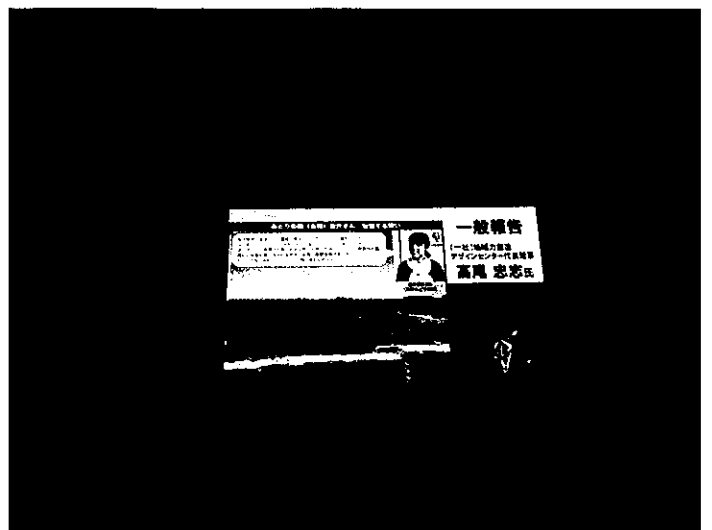
主報告
長崎市長 田上富久 氏



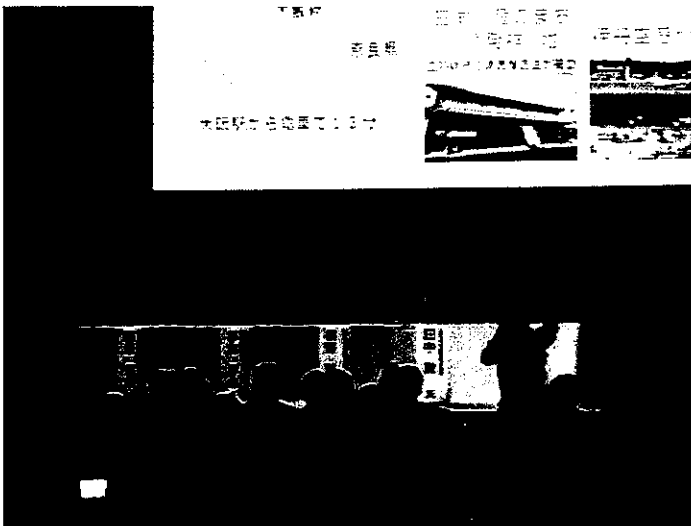
一般報告 島根県立大学地域政策学部准教授
田中輝美 氏



一般報告
山形市長 佐藤孝弘 氏



一般報告 一般社団法人地域力創造デザインセンター
代表理事 高尾忠志 氏
コスモス花壇を考えたみどりの課女性職員の紹介



パネルディスカッション



出島メッセ長崎 2F 2300人



長崎市庁舎 田上市長室 (応接)



長崎市議会 議場



長崎女子高校龍踊部による龍踊

田上市長が重視していることについて

「選ばれるまち」長崎へ

令和元年からの4年間は、特に若い世代を意識した中で、「選ばれるまちになる」ことをテーマに掲げ、新しい6つの重点プロジェクトに取り組んでいます。このことは、人口減少に歯止めをかけることにも確実に貢献するものと考えています。

9つの重点プロジェクト

「選ばれるまちになる」ために新たに取り組む6つのプロジェクト

1 こども元気プロジェクト

(目的) 子育てしやすいまちにする

(ミッション) ◆親子の遊び場をつくる ◆「こどもセンター」をつくる

2 長崎×若者プロジェクト

(目的) 若者が楽しめ、活躍できるまちにする

(ミッション) ◆若者が「楽しむことができる場」をつくる

◆若者が「チャレンジできる場」をつくる

3 住みよかプロジェクト

(目的) 若者や子育て世帯が住みやすいまちにする

(ミッション) ◆若者や子育て世帯が住みやすい住宅を提供する

4 新産業の種を育てるプロジェクト

(目的) 新たな産業を生み出すまちにする

(ミッション) ◆医療、海洋産業など、すでにある長崎の「強み」を産業に育てる

◆新たな「強み」を見出す

◆第一次産業における新しい形の産業を育てる

5 まちをつなげるプロジェクト

(目的) どこに住んでも暮らしやすいまちにする

(ミッション) ◆安心して暮らせる公共交通の仕組みをつくる

◆超高速インターネット環境を確保する

6 まちMICEプロジェクト

(目的) まち全体でMICEを受け入れる(活かす・楽しむ)まちにする

(ミッション) ◆ユニークベニユーの活用を促進する

◆訪問客の周遊・滞在を促進する

◆まち全体のおもてなし機運を醸成する

「まちの基盤づくり」を仕上げるために引き続き取り組む3つのプロジェクト

7 まちぶらプロジェクト

(目的) まちなかの魅力のみがき、賑わいをつくる

(ミッション) ◆地域の特性に応じた魅力を向上させる

◆各エリア間の回遊性を高める環境を整える

◆地域や市民自らによる、まちを守り、育て、創るための行動を支援する

8 公共施設マネジメント推進プロジェクト

(目的) 地域の未来に必要な機能を将来にわたり維持する

(ミッション) ◆それぞれの地区の特性に合わせた、「地区別計画」を策定する

9 市役所新化プロジェクト

(目的) よりよい市民サービスを提供できる市役所にする

(ミッション) ◆市民にとってわかりやすく、使いやすい行政サービスを提供する

◆業務を効率化する

◆新市庁舎の建設を推進する

(分かりやすく・使いやすい窓口、快適な執務環境などの整備)

3 長崎スタジアムシティプロジェクト

○概要

- 所在地：長崎市幸町
 用途：サッカースタジアム、アリーナ、商業施設、ホテル、オフィスなど
 事業主：(株)シャバネットホールディングス
 企画運営：(株)リージョナルクリエーション長崎
 基本設計者：(株)環境デザイン研究所・(株)安井建築設計事務所
 実施設計者および施工予定者の優先交渉権者
 ① スタジアム、ホテル、商業(南)：(株)竹中工務店
 ② アリーナ：戸田建設(株)
 ③ オフィス・商業(北)：戸田建設(株)
 ④ 立体駐車場：松尾建設(株)

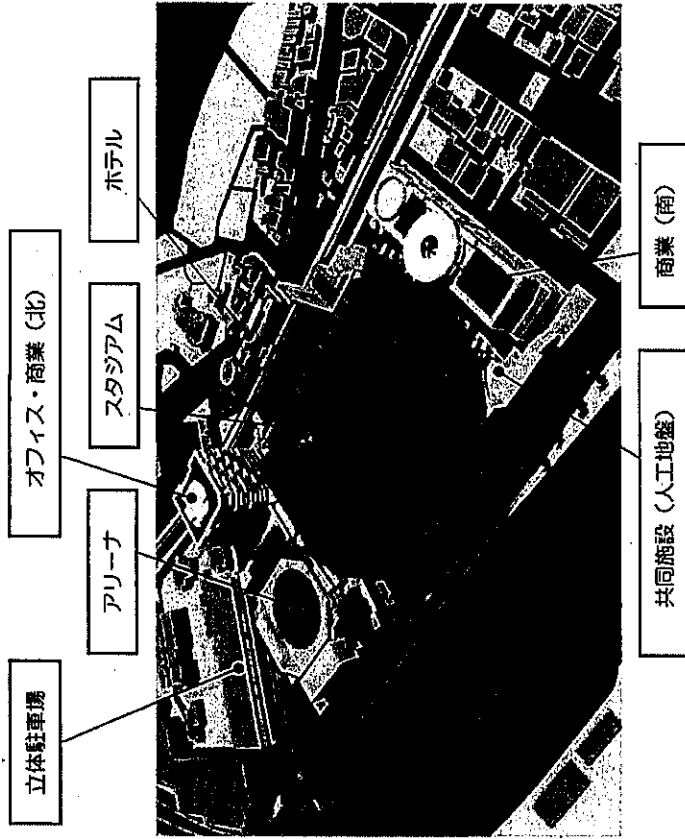
○施設計画 (R2.12.18 ニュースリリース)

- スタジアム 約 20,000 席
 アリーナ 約 5,000 席
 ホテル 約 270 室
 オフィス 約 20,000 m²
 商業施設 約 20,000 m²

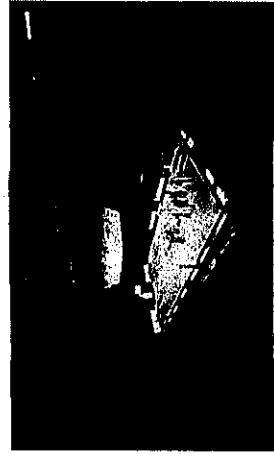
○スケジュール

- R3.4.27 実施設計者および施工予定者の優先交渉権者選定
 R4 着工(予定)
 R6 完成目標

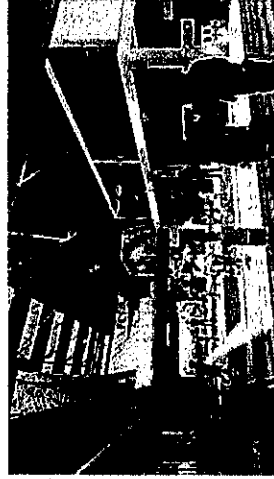
【長崎スタジアムシティ完成イメージ】



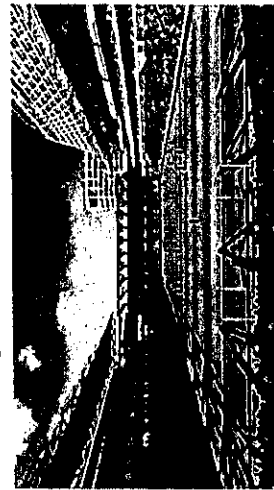
【アリーナ】



【南側広場】



【サッカースタジアム】



※イメージは、構想段階のため今後デザイン含め変更の可能性があり
 (提供) シャバネットホールディングス